



## ♪ せいじつの はたはなびきて あおぎみる まなごにきよし

新学期のにぎやかな学校生活がスタートして、まもなく2週間になります。朝、廊下を歩いていると、あいさつの声、校歌の歌声、「ハイ」という返事の練習の声、今月の目標を読み上げる声、……、各教室から子どもたちの元気な声が聞こえてきます。うれしくなるひとときです。

校歌は、思わず私も口ずさみたくなり、廊下で一緒に歌いながら歩いています。素晴らしい校歌だなあといつも思います。大切にしたい言葉が歌詞に多くあり、その中でも特に「誠実（まごころをもって人や物事に対すること、真面目なこと）」という言葉が私には一番響いてきます。この校歌が誕生して76年。歌詞に込められた思いを感じながら、子ども達とともに歌い継いでいきたいと思っています。



1年生の教室をのぞいていました。毎日少しずつ歌う範囲を広げながら、みんなで頑張って校歌を練習しています。その前向きな姿に私も元気をもらっています。



<p>三 わが国は すべてあらたに 開けゆく 世界とともに のどかなる 文化をめざし 勤勉は 岩をも徹す 心して たどる彼方に こだまする 暁の鐘</p>	<p>二 背戸の山 松風さやか 流れゆく 国府川の岸 くれないの 朝日はおどり 大山は 白銀に映ゆ すがすがし 心とからだ 元気にと れんげささやく</p>	<p>一 国庁のあと みどりこく その昔 ゆかりは深し この丘に 朝夕学ぶ 六百のわれらは睦む 誠実の旗は なびきて 仰ぎ見る まなごに清し</p>
---	--	--

校長室の本棚にある資料「社の教育百年」を開いてみると、校歌についての記述があります。「わが国はすべてあらたに開けゆく世界とともに・・・」。この校歌が制定されたのは終戦から3年後の1948年だそうです。作詞者は福光祀教諭、作曲者は江本登喜雄校長。当時勤務されていたお二人によって作られました。3番までの歌詞には、当時の校訓「誠実・元氣・勤勉」が読まれていると記されています。やがてその熱い思い（社の心）は「ゆたかに かしく たくましく」という言葉に引き継がれていきました。※2019年に2部合唱が完成し、「コーラスやしろ」の皆様によって初披露されました。

### 安全な登下校を ～命を守るために～



12日(月)に交通安全教室を行い、安全な登下校の仕方について確認しました。本年度もお世話になる交通安全ボランティアの皆様を代表して田中凌さんが来校され、校庭に集合した全校児童に、横断歩道の種類や渡るときの注意点等、大切なお話をしてくださいました。

その後、校庭に作られた横断歩道で、登校班ごとに練習。歩道では一列で歩くこと、横断歩道を手を上げて渡ることなど、実際の動きの中で要点を確認しました。

終了後、そのまま集団下校。PTA生活指導部の皆さんが、それぞれの登校班と一緒に歩いてくださいました。田中さん、生活指導部員さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

### \*\*\* 本年度もご協力おねがいします \*\*\* 諸事情による児童送迎時の車の乗り入れについて

児童の安全を最優先に考え、本年度も、正門より内側(下図参照)は、安心して歩行できるようにしたいと考えています。保護者の皆様には、登下校の時間帯(7:30~8:10、14:30~15:50)は、校地内への送迎車の乗り入れを控えていただきますようよろしくお願いいたします。

諸事情による児童送迎の際は、天候に関係なく正門より外側での乗り降りをお願いします。Uターンされる時は十分お気をつけください。

※なお、けがや病気で歩行困難な場合など、どうしても車を乗り入れる必要がある時は、職員に一言声をかけていただければと思います。

